

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



もやいとは、人と人をつなぐこと(共働・共助)

第217号



2020年(令和2年)1月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

八ヶ岳(北杜市から望む八ヶ岳連峰)

中野 文俊



新年のご挨拶

理事長 田代 富二夫



新年あけましてお
めでとうございます。

センター会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は多くの事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

2019年は過去最強クラスの台風が各地で甚大な被害をもたらし、停電や浸水等により生活が困難になるなど、これまで私たちが経験したことのないほどの異常気象の影響を受けた年でした。

また、5月には元号が変わり、「平成」から新しい「令和」の時代を迎えました。この新しい時代においても、当協会及びシルバー人材センター・生きがい就労センター事業をより発展、充実させてまいりたいと考えております。

2020年も引き続き、会員の皆様には、安全就業を心がけていただき、健康でいきいきと活躍くださるようお願いするとともに、皆様の益々のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

シルバー人材センター 運営委員会の取組み状況について

シルバー人材センター運営委員会については、発足してから毎月の会議において、意見交換・議論を行い、現在は就業の実情や意見等に基づき、必要とされる専門部会の立ち上げ等に取り組んできました。会員皆さんが就業することにおいて、多様な取り決めが求められることがあります。これらについて意見を取り入れながら、まとめられるよう努めています。

本委員会の目的の一つとして、就業する会員皆さんの仕事への姿勢の向上や技能の向上等による、生きがいの充実と社会参加の推進、利用されるお客様へのサービス向上に結び付くよう努めることを目的としています。

今後においても、会員皆さんが自ら立ち上がり、お互いに助け合い、協力して働いて行く「自主・自立・共働・共助」のシルバー人材センター事業の理念のもと、適切な運営に努めていきます。

空き家対策事業を開始して

平成31年3月に藤沢市と「空き家対策の推進に関する協定」を締結し、安全対策や防犯対策等、環

境保全における地域の課題解消に向けた取組みを実施しています。

今年度の受注実績としては、9月末日現在8件の依頼があり、作業を実施しました。担当会員が、家屋・その他建物（車庫等）・庭等敷地内の状態や、家屋外壁の破損・ひび割れ、草木の伸び具合等17項目について確認し、記録を取っていきます。的確に取り組み姿勢が求められますが、その分やりがいも大きいです。また、写真も撮影して普段来ることが少ないお客様にも状態が分かるように丁寧にご報告しています。これまで全ての空き家について、家屋や敷地の状況を確認する「基本プラン」と合わせて、除草・清掃や植木の剪定の「オプションプラン」についても依頼を受けました。

今後についても、本事業による就業機会の拡大と地域貢献・発展に向けて取り組むたいと考えています。



事業普及啓発促進活動を実施

ビーチクリーンを実施しました

昨年の10月5日、片瀬西浜海岸において、ビーチクリーンを実施しました。

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定めています。このため10月は全国のシルバー人材センターで、加入促進、就業拡大の活動展開、ボランティア活動（清掃活動等）、各種イベントへの参加等の事業が実施されました。

本市でもこの機に合わせ、（公財）藤沢市まちづくり協会シルバー人材センター及び生きがい就労センター事業の普及啓発活動と会員の社会参加推進事業を兼ねてビーチクリーンのボランティア活動を実施しました。

当日は天候に恵まれ、一般参加者や会員、協会役員等の方々により実施され、会員相互や協会役員との親睦も図ることが出来ました。（公財）藤沢市まちづくり協会田代富二夫理事長の開催の挨拶の後、参加者の皆さんは可燃ごみと不燃ごみの袋をそれぞれ手に一斉に砂浜に散っていきました。

海岸のごみ清掃は、多くのボランティア団体、企業、自治会等の

皆さんの献身的な努力に支えられて、大切な海の環境や資源が守られています。

参加された皆さんは、細かい、いろいろなごみを丁寧に拾い集め、可燃・不燃ごみ袋に分別収集されていました。1時間ほどでビーチクリーンは無事所期の目的を達成し終了することができました。

シルバー人材センター・生きがい就労センターでは、健康で働く意欲のある方に、さまざまな就業の機会を提供しています。

今回は、シルバー人材センター・生きがい就労センター事業普及啓発促進のため、昨年同様会員と市民が共働で行う海岸清掃ボランティア活動（ビーチクリーン）を実施したのですが、このほかに、両事業を紹介するDVDの貸出しやホームページでの紹介もしています。

最近はずっと少子高齢化による様々な人手不足が深刻となり、シルバー人材センター会員の地域の



(3)

担い手としての要請や現役世代の下支え等、地域における存在意義が高まっています。この期待にこたえるために、会員の拡大と就業開拓・事業発展に向けて一層の努力をします。



「帆布のトートバッグ作り」を学びました

生きがい就労センターの女性部門で、昨年の9月18日に縫製技能講習会を開催し、「帆布のトートバッグ作り」を実施しました。女性部門では、会員の働く機会を確保・提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図っています。毎年技能講習会を開催し、技能と就業意欲の向上を図り、就業の拡大に努めています。今回も会員をはじめ、講習会に応募された一般の方々に

交え行われました。好きな色の生地を選び、講師の先生の指導のもと講習会が始まりました。

外ポケット・内ポケットや持ち手をミシンで縫い、持ち手や外ポケットを表袋布に縫い付けたり、表袋布と底布を縫い合わせ、内ポケットを裏袋布に付け、脇と底を縫い合わせるなど、ミシンを使った一連の細かい作業を終え、1時間半ほどで素敵なトートバッグが出来上がりました。作り方のコツを習得すれば、自分の好きなオリジナル作品に挑戦出来る楽しい技能講習会でした。

トートバッグ ひとくちメモ

トートバッグ(英語: tote bag)は「運ぶ」「背負」を意味します。トートバッグはアウトドアで、キャンプなどの際に水や水を入れて運ぶことができるキャンパスなどを使って製作された布生地の大型で角張った手提げ袋をそう呼んでいたそうです。のちにファッション性を帯び、女性のハンドバッグなどとして一般化するようになったものです。



藤沢市生きがい福祉センターのご案内

生きがい福祉センターは藤沢市鶴沼神明にある、シルバー人材センター・生きがい就労センターのある施設です。(藤沢駅北口から徒歩約15分)

生きがい福祉センターでは次のようなことを行っています。

★会員登録をされる方には入会説明会(毎月第3水曜日10時から)お仕事を御探しの方には就業相談会(毎月

第2水曜日 14時40分から)

★会員向けの研修会や、随時お仕事の面談やご案内等。

また、健康相談医による健康相談も毎月開催しています。(日にご等はお問合せください)皆様、お気軽にお立ち寄りください。



★1月27日(月)14時から、健康に関する講座「冬の体調管理について」をテーマに開催します。(どなたでもご参加いただけます)

確定申告を忘れずに!

配分金収入がある会員の方は、金額にもよりますが、確定申告が必要になりますので、左記の期間中に必ず手続きを行ってください。

期間 令和2年2月17日から3月16日まで ※土日祝を除く。ただし、2月24日(振休)と3月1日(日)は行っています。

詳細については、藤沢税務署にご確認、ご相談ください。なお、会員の方にお支払いした配分金額(配分金総額票)を1月中旬に郵送する予定です。

会員の活動紹介

史跡歩き同好会

秦野駅〜渋沢駅史跡歩き

山本 伸哉

今回は秦野駅を下車し渋沢駅へ向う史跡歩きになりました。十一月下旬で秋の紅葉もあり、天候にも恵まれ良い史跡歩きとなりました。

まず向ったのは大岳院で、正式名は亀王山大岳院といつて、相模原新西国三十三番札所になっています。また、秦野市の重要文化財になっています。次に立ち寄りました、今泉名水公園は春になると大勢の人が訪れる桜の名所になっています。又池もあり静かな公園です。その後、関東三大稲荷の一社、白笹稲荷神社に行きました。神社裏手には、赤い鳥居がいくつも建っており、京都の伏見稲荷神

社の赤い鳥居を思い起こさせます。それから沿道植物を見ながら震生湖へ向いますが、その途中中小高い丘を登りながら立ち止まって振り返ると秦野市街地が見え、丹沢山塊の雄大なパノラマの景観を眺めることが出来ました。

(11月23日)

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 23-5632 山本伸哉

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

昨年の十月、千葉県を始め各県を襲って来た大型台風により、多くの方々と家の被害に遭

い、本当に心が痛みます。一方、明るいニュースもありました。

天皇皇后両陛下の『即位礼正殿の儀』が厳かに行われ、国民一同喜びの感動に浸りました。更に、十一月十日、晴天の中『祝賀御列の儀』が執り行われ(即位パレード)新天皇と皇后雅子様(パレード)新天皇と皇后雅子様の親しみに満ちた笑顔に全国民が感激し、決してこの日を忘れる事はないでしょう。

さて、前号の宿題の答えは、名女優の「富士真奈美」さんでした(2019.6.20付毎日新聞 坪内稔典先生選)

では、また問題をお出ししましょう。

この「詩」は世界的大物歌手が28才の時に詠んだ一節です。さてその人の名は? ☺

川の流れの美しさに
ひかれて夢を見た
この流れは
砂をはずめ
岩にぶつかり
細い間をぬって
広い大きな愛の海に
たどりつくのかと……

次号は I i i k e 『清少納言』の世界へご案内します。

なお、当同好会にご参加の方は、左記の森本、若林までご連絡ください

川柳同好会

句題 『自由吟』 ♪心新たに♪

お賽銭ご指名あれば数えます 《太郎》 一葉より諭吉が好きです妹も《ゆうすけ》
お雑煮も十日も続くと飽きが来て《タロー》 正月は手抜きしたいと万歩計《三郎生雄》
お神様今年も五円で幸多く 《裕助》 獅子舞を玄関先の犬が吠え《さぶちゃん(いきお)》

選者

森本 生雄 43-10023
若林 琢磨 81-11407

五行歌

いよいよ今年
オリンピックと
パラリンピック
世界に輝け
日本
もも助
台風19号近つき
夫と家を出る
すでに辺りは暗い
雨風によろめく
まだ避難所は遠い
もも子
元旦の
初鏡
磨いて
古希の
妻の紅
生雄

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)